

北九州市立中尾小学校
学校だより
令和7年1月9日号
校長 上 赤 義 人

学校教育目標
すこやかに、 おおらかに、
たくましく伸びる児童の育成

三 学 期 ス タ ー ト

～本年度のまとめと新年度の準備の学期として～

3学期の始業式に、「3学期は、1・2学期のまとめの学期であるとともに、新年度のゼロ学期や準備の学期です」という話を子どもたちにしました。子どもたち一人一人が自分自身をよりよい方向に向かわせる気持ちで4月からの新しいステージの大きな目標を達成するため、この3学期にまずできることの小さな目標を達成させ、新年度を迎えてほしいと思います。そして、そのような思いをもつことが、3学期をすばらしいものにできるはずです。

3学期を充実させるためには、まず、2学期を振り返り課題克服の意欲をもち、それを実践することが重要です。

そこで、2学期末に実施した児童アンケート結果の一部を紹介します。この結果を見ながら、ご家庭でお子様といっしょに、3学期の目標づくりについて話し合ってみてください。

◆朝の会や帰りの会、学級活動、先生とのお話の中で、自分の「よいところ」を見付けることができましたか。

とてもできた(31%) だいたいできた(44%)

あまりできなかった(18%) まったくできなかった(6%)

◆学校での生活を通して、「将来なりたい姿」や「将来の夢」のイメージをもつことができましたか。

とてもできた(43%) だいたいできた(34%)

あまりできなかった(17%) まったくできなかった(6%)

◆家で計画を立てて、勉強をしていますか。学校の授業以外に、1日あたり、どれぐらいの時間、勉強をしていますか。

※1～3年：30分程度/日 4～6年：60分程度/日

学年の目安の時間よりも長く学習している。(19%)

だいたい目安の時間ぐらい、学習している。(37%)

目安の時間より、少ない。(32%) まったく学習していない。(12%)

◆学級の目標に向かってがんばることができましたか。

とてもできた(42%) だいたいできた(40%)

あまりできなかった(15%) まったくできなかった(3%)

「お正月はいつまで?」「お年玉とは?」

『学校だより12月号』にもありましたように、年中行事(年末年始)についてご家庭でも子どもたちとお話しをしてほしいという思いがあり、二学期の終業式において「お正月はいつからいつまででしょう」「お年玉はなぜお年玉というのでしょうか」というクイズを子どもたちに出しました。その回答は、諸説あるようですが、以下のようなことを紹介します。<Yahoo! JAPANより検索一部抜粋>

★ お正月とは1月ですが、現在ではお正月を三が日、松の内などの同類語として使っています。1月20日までをお正月(骨正月)としているところもあるようですが、一般的には短縮された松の内である1月7日までの期間＝お正月という認識が多いようです。

★ お年玉の由来は、御歳魂という言葉から来ています。御歳魂というのは、正月に歳神(年神)を迎えるためにお供えされた丸い鏡餅のことを指しており、お供えした後に家族に分け与えられていました。お餅から、お金(現金)に変わり、そしてキャッシュレスサービスへと時代とともに変化しているようです。

これからも、各ご家庭で、子どもたちと先人たちの思いや知恵を知るとともに、今を生きていることの大切さ等について、話してみてください。



保護者・地域の方へ

松の内は過ぎましたが、あらためて、本年もよろしくお願いいたします。

昨年末には、特に子どもたちの安全のためにご理解・ご協力をいただきありがとうございました。今後も安心・安全な学校づくりに邁進いたします。